



変わりゆく東淀川区

未来へつなぐ「ひと」「まち」の知恵

南海トラフ巨大地震や近年頻発する想定を上回る大規模自然災害から命や生活を守るため、区民一人ひとりがどのように行動すべきか、今後、まちの姿が変わっていく東淀川区でどのように防災・まちづくりや地域コミュニティの形成を進めるべきかについて、専門家よりご講演をいただきます。この機会に防災意識を高め、東淀川区のこれからのまちづくりを考える場として、ぜひご参加ください。

参加無料・申込不要

日時

令和7(2025)年**12月6日 土** 10:00~12:30(開場:9:30)

※当日7:00の時点で暴風警報、もしくは特別警報発表の場合は中止します。

1

講演「荒ぶる自然災害に向き合う

地域防災のあり方を考える」

片田 敏孝氏(東京大学大学院情報学環 特任教授)

専門は災害情報学・災害社会工学。全国各地で地域防災活動を展開し、防災功労者内閣総理大臣表彰、海洋立国日本推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞。平成26年には皇居に招かれ天皇后陛下にご進講。内閣府中央防災会議や中央教育審議会、防災庁設置準備アドバイザー会議など多数の審議会委員。前日本災害情報学会会長、日本自然災害学会理事。



2

講演「住民主体のまちづくりの意義と方法」

久 隆浩氏(近畿大学 名誉教授)

1958年高知県生まれ、大阪育ち。1986年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。(財)21世紀ひようご創造協会主任研究員、大阪大学工学部助手、近畿大学理工学部助教授、同教授、総合社会学部教授を経て、2025年より名誉教授。もともと都市計画が専門だが、近年はさまざまな分野のまちづくり活動・市民活動の支援をおこなっている。



3

講演者による対談「防災とまちづくり」

ファシリテーター: 臼田 利之氏(大阪経済大学 准教授)

専門は地域政策、地域開発。地方自治体にて防災マップの作成等の防災対策やうめきた等の都市開発業務に従事。2024年から現職。



会場

大阪経済大学 D館 D10教室 (大阪市東淀川区大隅2-2-8)

アクセス: 阪急京都線「上新庄」駅下車 徒歩約15分
大阪メトロ今里筋線「瑞光四丁目」駅下車 徒歩約2分

▶会場前ホワイエにて、大阪経済大学の学生によるまちづくりに関するパネル展示を行います。



大阪経済大学
周辺マップ



大阪経済大学
キャンパスガイド

